

令和5年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22106	事業名	肥料価格高騰対策事業			
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()					
	施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上		予算科目	会計	01:一般会計
		基本施策	03:農林業の振興			款	06:農林水産業費
		施策の方向	01:農業経営体の育成・確保			項	01:農林水産業費
重点プロジェクト	-		目	03:農業振興費			
事業期間	R 4 年度 ~ R 4 年度	主な根拠法令等		-			

評価分類	A2(繰越)
------	--------

担当部署	
部	産業環境部
課	農林振興課 農林政策G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	ロシアによるウクライナ侵略等の影響により、化学肥料原料の国際価格が大幅に上昇し肥料価格が急騰したため、農業経営の負担が増加している。このことから、持続可能な農業経営に向け、化学肥料低減の取り組みを推進するとともに、早急に農業経営への影響を緩和する必要がある。	化学肥料の低減等に取り組む販売農家(国の肥料価格高騰対策事業を活用する市内に住所又は主たる事業所を有する販売農業者)	農業経営への影響を緩和するとともに、化学肥料の使用量の低減を進め、持続可能な農業経営を支援する。	化学肥料の低減に向けて取り組む農業者に対し、前年からの肥料費の上昇分の15%の補助金を交付する。

年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
③ 事業の実施状況 (P・D)	事業計画	○支援金の交付			
	活動実績 (計画通り実施できたか)	化学肥料の低減等に取り組む販売農家122者に対して、秋肥分の補助金交付を実施した。また、春肥分については、国が予算の繰越しを行ったため、それに合わせて予算を繰越し、令和5年度に補助金交付を実施する。	前回に引き続き、化学肥料の低減等に取り組む販売農家237者に対して、春肥分の補助金交付を実施した。		
計画額	事業費	12,900千円	1,800千円	11,000千円	
	国・県支出金	12,900千円	1,800千円	11,000千円	
	地方債		0千円		
	その他		0千円		
	一般財源		0千円	0千円	
決算額	事業費		1,307千円	3,295千円	
	国・県支出金		1,307千円	3,295千円	
	地方債		0千円		
	その他		0千円		
	一般財源		0千円	0千円	
①期間内計画額(R4-7)		12,900千円	②期間外計画額(R8-)	0千円	①+②総計画額
					12,900千円

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	11,000千円
当年度の最終予算額	0千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	支援金を受給した農業者(累計)	市が設ける条件を満たし、支援金を受給した農業者の数	成果	者	計画値 実績値	500 122	359		
				計画値 実績値					
				計画値 実績値					

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	B	当該補助金を申請者全員に交付することで、肥料価格高騰の負担を受ける農業経営への影響を緩和するとともに、持続可能な農業経営を支援することができた。また、化学肥料の使用量の低減を進め、環境負荷低減にも寄与した。
	まずまず成果を得た	

事業の対象	事業の目的
化学肥料の低減等に取り組む販売農家(国の肥料価格高騰対策事業を活用する市内に住所又は主たる事業所を有する販売農業者)	農業経営への影響を緩和するとともに、化学肥料の使用量の低減を進め、持続可能な農業経営を支援する。

⑥ 課題 (C)		事業の達成状況等を踏まえた課題事項
		化学肥料価格や資材価格の高騰は続いており、農業経営の負担は増加している。そのため、化学肥料を利用しない堆肥や有機質肥料の利用など化学肥料低減の取組みを進め、農業経営への影響を緩和し、持続可能な農業経営を支援していく必要がある。

⑦ 事業の 展開 (A)	方向性	
	完了	目的の達成又は終期の到達等により事業を完了する。
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの	令和7年度以降で対応するもの

【 履 歴 】		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	成果判定		A	B	
事業展開		継続(現状維持)	完了		

1次評価者	産業環境部 農林振興課 農林政策GL 小澤 栄一
最終評価者	産業環境部 農林振興課長 鳥喰 さとみ